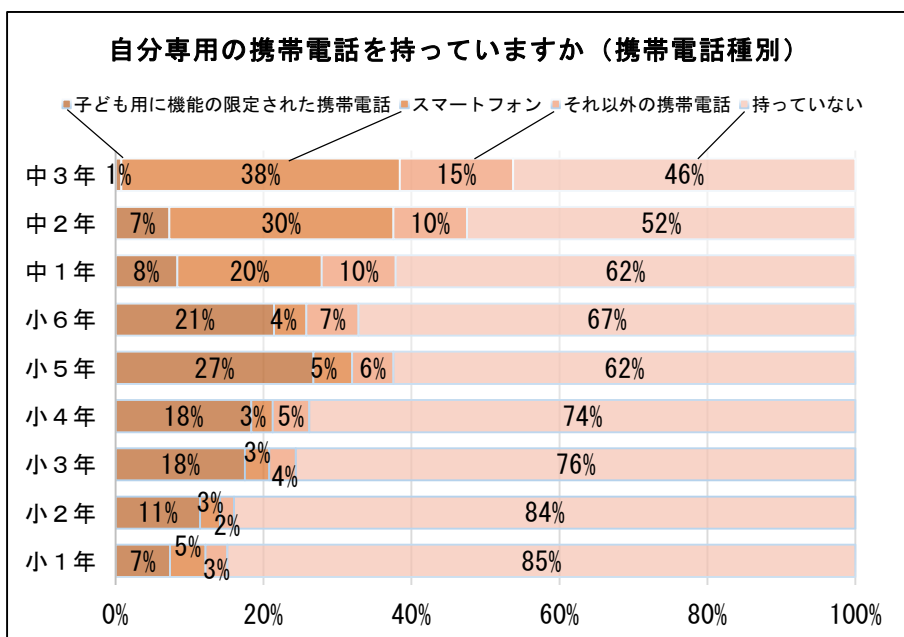


インターネット・携帯電話の利用の様子

佐野市教育センターでは、平成 26 年 6 月～7 月にかけて、市内全小中学校の各学年 1 クラスずつを対象として、「インターネット及び携帯電話の利用状況等に関する調査」を行いました。その結果の一部をご紹介します。

有効回答数：4,169 名（全児童生徒の約 46%、小学生の約 56%、中学生の約 26%）

○佐野市の小学生の 25%、中学生の 45%が自分専用の携帯電話を所持している。



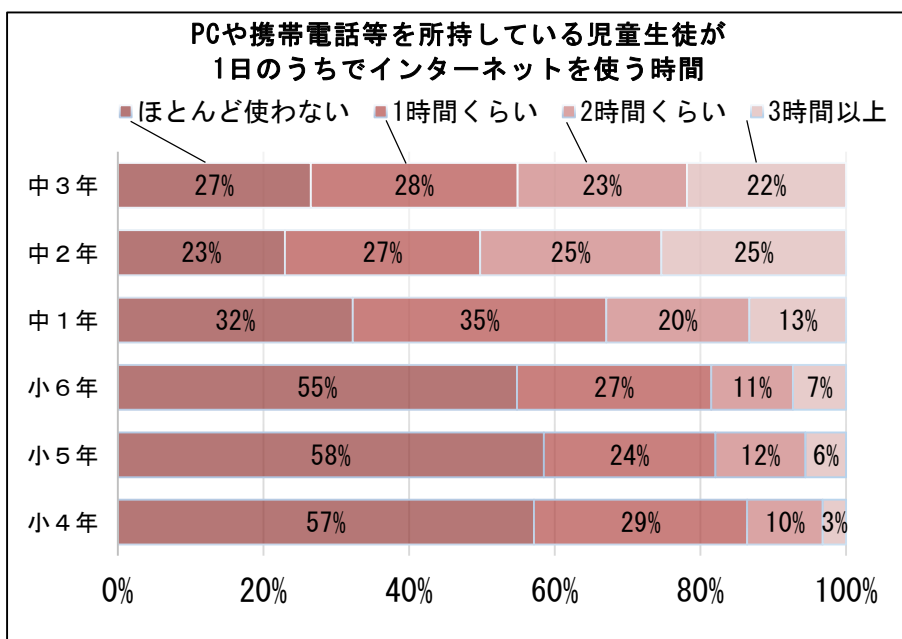
所持率は学年があがるにつれて上昇する傾向があります。

所持している携帯電話の種類は、小学生では、主に「子ども用に機能の限定された携帯電話」の割合が多く、中学生では「スマートフォン」の割合が多くなっています。



佐野ブランドキャラクターさのまる

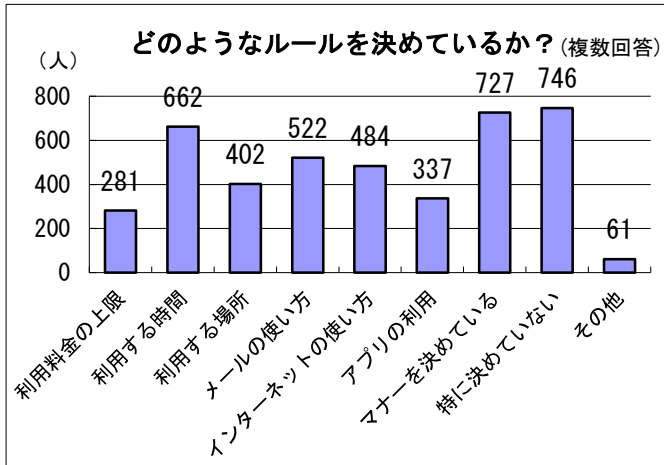
○長時間パソコンや携帯電話でインターネットを利用している児童生徒が多い。



インターネットにつながる機器を所持している児童生徒は、学年があがるにつれて、長時間インターネットを利用している割合が多くなります。

中学生では、44%の生徒が、毎日 2 時間以上インターネットを利用しています。特に、中学校 2 年生では、25%の生徒が毎日 3 時間以上インターネットを利用しています。

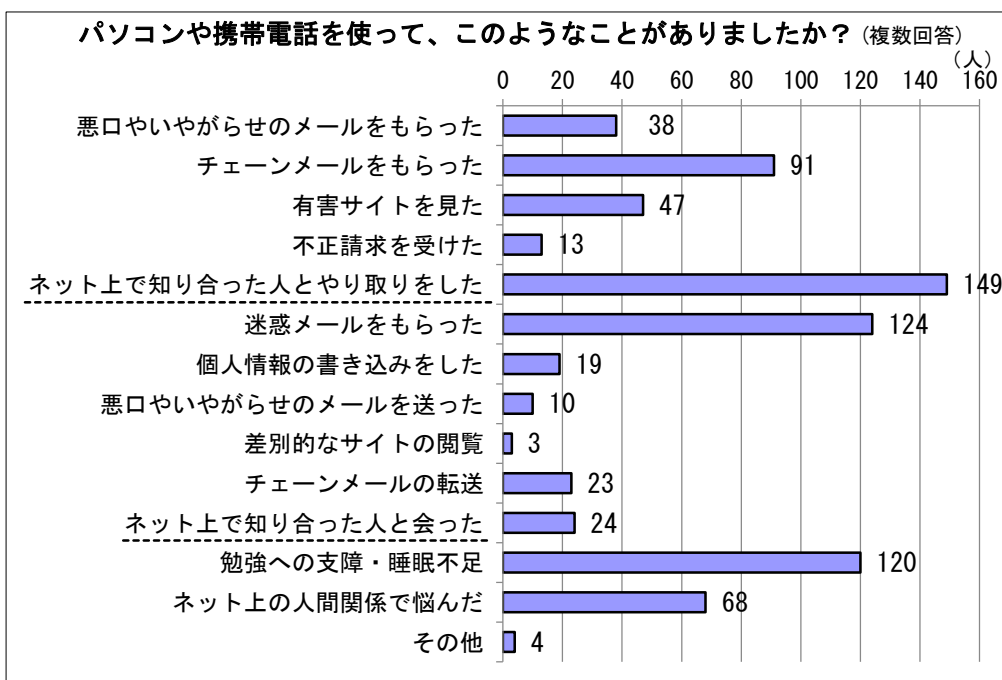
○携帯電話等の使い方について「特に決めていない」と回答した児童生徒が多い。



家庭でパソコンや携帯電話等を使ってインターネットを利用している児童生徒に、「家庭でのパソコンや携帯電話等の利用について何かルールがありますか？」と質問したところ、一番多かった回答は「特に決めていない」でした。

保護者はルールを決めたつもりでも、児童生徒には意識されていない現状があります。

○トラブルにつながるような使い方をしている児童生徒もいます。



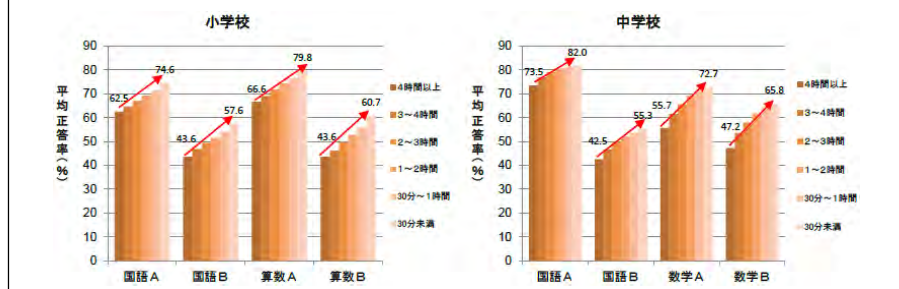
アンケートに協力してくれた小中学生のうち、「ネット上で知り合った人とやり取りをしたことがある」児童生徒が149人、実際に「ネット上で知り合った人に会った」ことがある児童生徒が24人いました。思わぬ事件につながることもあります。

○「全国学力・学習状況調査」でも、インターネットの利用時間と学力との相関関係が分かりました。

4月に文部科学省が全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に行った調査でも、全国の結果から、携帯電話やスマートフォンで通話メール・インターネット等を利用する時間の短い児童生徒ほど、正答率が高いという結果が出ています。

○児童生徒の学習・生活習慣と平均正答率との関係

・普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間を除く)
平成26年度 全国学力・学習状況調査(文部科学省)から



ぜひ、ご家庭でインターネットや携帯電話等の使い方などについて話し合ってください。